

令和6年度 決算報告書

国立大学法人筑波技術大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	2,273	2,390	117	(注1)
施設整備費補助金	104	49	△ 54	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	155	159	5	(注3)(注4)
大学改革支援・学位授与機構施設費 交付金	16	16	—	
自己収入	272	267	△ 5	
授業料、入学科及び検定料収入	165	156	△ 9	(注4)(注5)
附属診療所収入	77	77	△ 0	
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	30	34	4	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金 収入等	57	102	45	(注7)
引当金取崩	—	22	22	(注8)
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	40	18	△ 22	(注9)
引当特定資産取崩	—	—	—	
計	2,917	3,024	106	
支出				
業務費	2,620	2,622	2	
教育研究経費	2,463	2,476	13	(注10)
診療経費	157	147	△ 10	(注11)
施設整備費	120	65	△ 54	(注12)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	120	121	1	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金 事業費等	57	56	△ 1	(注14)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	—	—	—	
大学改革支援・学位授与機構施設費 納付金	—	—	—	
計	2,917	2,865	△ 53	
収入-支出	—	159	159	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、計画時に想定していなかった前年度からの繰越分及び教育・研究基盤維持経費、特殊要因運営費交付金のうち年俸制導入促進費の追加配分があったことにより、予算額に比して117百万円の増となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、交付決定金額よりも執行金額が少なかったことにより、予算額に比して54百万円の減となっています。
- (注3) 補助金等収入には、計画時に想定していなかった補助金の交付があったため、予算額に比して5百万円の増となっています。
- (注4) 補助金等収入に記載の授業料等減免費交付金は38百万円であり、授業料等免除に使用しております。また、その同額を「授業料、入学金及び検定料収入」から控除しております。
- (注5) 自己収入のうち授業料、入学金及び検定料収入については、入学金収入等の減少により、予算額に比して9百万円の減となっております。
- (注6) 自己収入のうち雑収入については、資金運用による利息収入の増加等により、予算額に比して4百万円の増となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、寄附金受入額の増加などにより、予算額に比して45百万円の増となっています。
- (注8) 引当金取崩については、退職給付引当金の取崩により、予算額に比して22百万円の増となっています。
- (注9) 目的積立金取崩については、当初予定していた執行額の減少等により、予算額に比して22百万円の減となっています。
- (注10) 業務費のうち教育研究経費は、(注8)に記載した退職給付引当金の支出などにより、予算額に比して13百万円の増となっています。
- (注11) 業務費のうち診療経費は、常勤教員の診療に係る時間の減少に伴う人件費の減少などにより、予算額に比して10百万円の減となっています。
- (注12) 施設整備費については、(注2)に記載した理由により、予算額に比して54百万円の減となっております。
- (注13) 補助金等については、(注3)に記載した理由などにより、予算額に比して1百万円の増となっております。なお、授業料等減免費交付金38百万円の執行は、授業料免除の実施により「授業料、入学金及び検定料収入」に充当したものと、支出区分の「補助金等」には計上しておりません。
- (注14) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、当初見込より執行額が減少したことにより、予算額に比して1百万円の減となっています。